

「日本と人権問題」

障がい者の人権問題

障害がある方は先天的あるいは後天的のいずれであっても望んでそうなったわけではなく、障害がある人もない人も等しい社会の一員であり互いに尊重して支えあいながら生活していくことが当然であるというノーマライゼーションの考え方

があります。

しかし現実には障がい者に対する理解と認識不足から、就労における差別や入居拒否、乗車拒否などが発生しています。

今の社会では道路や交通機関、
建物などの施設やひとりひとりの心
から障害物をなくすバリアフリーの
考え方から、障がい者を含むすべ
ての人々にとって住みやすい平等
な社会づくりが求められています。

女性の人権問題

はじめに
国内の最高法規にさえ、平等が
謳われている(うたわれている)にも
かかわらずいまだに社会参加や就
職、また収入などの機会において
男女で格差が存在しています。

近年の傾向

先ほどあった問題に加え配偶者からの暴力、セクハラ、マタニティハラスメント、ストーカー、性犯罪などが近年、女性に対しての人権問題として訴えられています。

世界の女性問題

世界の経済フォーラムにおいて、男女の格差の指標となるジェンダーギャップ指数が発表されますが、2018年のデータでは日本は総合0.662でした。

このジェンダー・ギャップ指数は0に近いほど完全不平等であり、1に近いほど完全平等を意味していますが、1位はアイルランドで0.858、日本は144カ国中114位とかなり下のランクでした。

感想

今回、人権問題について調べて
色々な人々が悩んでいることをしり
ました。

出典サイト名:https://gooddo.jp/magazine/sdgs_2030/reduced_inqualities_sdgs/9053/